

東京都立大学大学院 法学政治学研究科

法学政治学専攻 法律学分野

2025 年度入試 (2 月入試)

[2025 年 2 月 11 日実施]

問題用紙

試験区分	博士前期課程 外国人特別選抜
科目名	法律学専門知識 (解答上の注意参照)
試験時間	12 時 00 分 ~ 15 時 00 分 [180 分]

[配布物]

問題冊子	1 冊 (この冊子 全 2 頁)
答案用紙	4 枚 [右上イエロー3 枚, ブルー1 枚]
下書用紙	1 枚

【受験上の注意】

- (1)机の上に出しておいてよいものは、受験票・筆記用具・消しゴム・六法(判例、解説および書込みのないもの)・時計(アラームの鳴らないもの)だけです。それ以外のものを出しておきたい場合は、手を挙げて監督員に確認してください。
- (2)試験中は、監督員の指示に従ってください。
- (3)解答始めの合図があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- (4)不正行為をおこなった場合は、その時点で受験をとりやめさせ、退室させます。
- (5)問題用紙、答案用紙、下書用紙はいずれも回収します。
- (6)答案用紙には、解答に関係のないことを記入してはいけません。また、答案用紙を切り取ってはいけません。
- (7)問題冊子に不鮮明な箇所があった場合には手を挙げて監督員に知らせてください。
- (8)解答が答案用紙のおもて面に収まらないときは、うら面を使ってかまいませんが、答案用紙の追加はできません。
- (9)試験中に気分が悪くなったり、トイレに行きたくなったりした場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
- (10)解答開始から 30 分経過した後は、受験を放棄して退室することができます。受験を放棄したい場合には、手を挙げて監督員に知らせてください。
- (11)解答する科目は、出願時に希望した研究分野の科目から変更することはできません。

〔解答上の注意〕

・【第1問】から【第3問】までは、右上が黄色の答案用紙に、それぞれ1問ずつ解答し、解答科目欄には、次のように記入すること。

例：第1問 日本法の基礎・憲法

（【第1問】から【第3問】のすべてに解答すること）

・【第4問】は、右上が青色の答案用紙に、出願時に希望した研究分野の科目を選択して解答し、解答科目欄には、その科目名を記入すること。

〔日本法の基礎・憲法〕

【第1問】（右上が黄色の答案用紙に解答）

日本国憲法のもと、国会・内閣・裁判所のそれぞれにどのような役割が与えられているかについて、論じなさい。

〔日本法の基礎・民法〕

【第2問】（右上が黄色の答案用紙に解答）

詐欺行為取消権について、知っていることをすべて記しなさい。

〔日本法の基礎・刑法〕

【第3問】（右上が黄色の答案用紙に解答）

正犯と共犯の区別について、共同正犯、教唆犯、従犯（幫助犯）の区別も含めて論じなさい。

〔研究希望分野に関する出題〕

【第4問】（出願時に希望した研究分野の科目を選択して、右上が青色の答案用紙に解答）

【民法】

法人の権利能力について、自然人と比較しつつ論じなさい。

【刑事訴訟法】

刑事手続における適正の確保と証拠排除の関係について論じなさい。

【知的財産法】

「AIは発明者となれるか」について論じなさい。

【出題趣旨】

①日本法の基礎（第1問から第3問）

外国人留学生に関して、法学研究をする上で基本となるべき日本法の重要法分野（憲法・民法・刑法）についての理解を得て、法学研究を行うための基礎力があるかを問う問題である。

②専攻科目（第4問）

外国人留学生に関して、その志望する研究法分野の基本的な理解を得て、当該法分野の研究を行うための基礎力があるかを問う問題である。